マプト港のインフラ開発動向

1. マプト港の概要

マプト港は、南アフリカのヨハネスブルク首都圏、鉱物資源が豊富であるリンポポ州およびムプマランガ州、さらにスワジランド及びジンバブエを結ぶマプト回廊の起点である。2003年にマプト港の運営権(コンセッション)を獲得したマプト港開発会社(Maputo Port Development Company: MPDC)が、マプト港の運営、保守、海運サービスを担うとともに、「Port Authority」として、マプト港の開発計画を策定及び実施している。マプト港は、マプト市内のマプト・ターミナル、マト

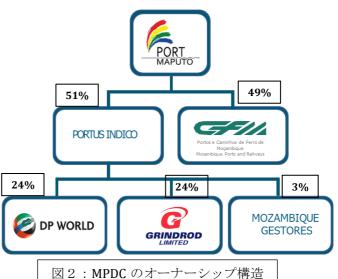
ラ市内のマトラ・ターミナル、さらに現在 建設中のカテンベ・ターミナルからなる。

マプト・ターミナルは、さらに、(1) 車両ターミナル、(2) 一般貨物ターミナル、(3) 砂糖ターミナル、(4) コンテナ・ターミナル、(5) 糖蜜ターミナル、(6) クロム鉄ターミナル、(7) 海岸ターミナル (Cabotage)、(8) 石炭・磁鉄鉱ターミナルに区分されている1。マプト港の約75%は、南アフリカなどのトランジット貨物を取り扱っており、残りの25%が国内貨物として処理されている。

マプト港のコンセッションは、2003年か ら開始されている。コンセッション期間は、 当初の 2018 年から 2033 年に延長し、さらに 10年間の延長の可能性が残されている。MPDCの 51%は、民間企業コンソーシアムの Portus Indico が所有し、残りの49%が国営港湾鉄道会社の CFM (Caminho de Ferro de Moçambique) によ って所有されている。Portus Indico は、ドバ イに拠点を持つ DP World、南アフリカの Grindrod、モザンビークの Mozambique Gestores から構成される。MPDC が運営する ターミナルは、クロム鉄ターミナル、一般貨 物ターミナルであり、その他のターミナルは、 各運営企業が運営している。例えば、Grindrod は、車両ターミナルを運営しており、DP World はコンテナ・ターミナルを運営してい る。



図1:マプト港の概要



Copyright(C) 2015 JETRO. All rights reserved.

¹マトラ港については、別レポートにて詳細を記載する。

2. 現在の貨物取扱量

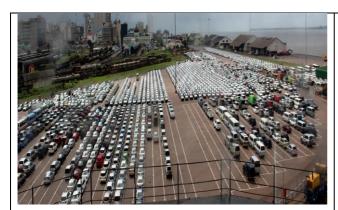
マプト港は、モザンビーク国内では最大の貨物取扱量を処理しており、2014年の貨物取扱量は19.3百万トンであった。2003年のコンセッション開始時から比較すると、貨物取扱量は約4倍に増加している。

車両ターミナルの処理能力は、20.2 万ユニット/年であり、現在は主として中古車輸入と南アフリカで製造された車両の輸出として、約15万ユニット/年が利用されている。南アフリカで産出されるクロム鉄は、マプト港のクロム鉄ターミナルを通して輸出さ



れている。現在、クロム鉄ターミナル拡張工事(Phase 5)が実施されており、クロム鉄の取扱量はかつての 1.1 百万トン/年から 3.2 百万トン/年に拡張される予定である。砂糖ターミナルには、4 つの砂糖倉庫があり、現在、1.2 百万トン/年の処理能力がある。砂糖は、モザンビーク、南アフリカ、スワジランド、ジンバブエからの砂糖を取り扱っている。一般貨物の取扱量は、1.2 百万トンであり、バラ積み貨物、プロジェクトカーゴ、鉄鋼、フルーツなどが処理されている。コンテナターミナルの現在の処理能力は 15 万トン/年である。コンテナターミナルから 1.5km 離れた場所には、コンテナ・デポが設置されており、空コンテナ 2,000TEU 及び実入コンテナ 300TEU の置場がある。海岸ターミナル(Cabotage)は、国内海運を取り扱っており、食糧等を処理している。

マプト港は、南アフリカへの幹線道路(EN4)に接続されており、現在、マプト港へのアクセスを改善する道路建設が実施されている。マプト港は、CFMが管理する鉄道網とも接続されており、南アフリカのレサーノガルシア路線、ガザ州及びジンバブエのリンポポ路線、スワジランドのゴバ路線と接続している。また、マプト回廊の鉄道網を整備するRail Master Planが作成されている。



マプト港の車両ターミナル



砂糖ターミナルの倉庫とベルトコンベヤー



クロム鉄鉱ターミナルのクロム鉄鉱置場



コンテナ・ターミナル

3. マプト港の開発計画

MPDC は、コンセッション開始の 2003 年から着々と港湾リハビリ事業を実施し ており、2013年までに475百万ドルの 港湾リハビリ事業を実施した。MPDC は、 マプト港湾マスタープランを作成し、 2033 年までに 20 億ドルの投資を行い、 港湾キャパシティを現在の19.3 百万トン から40百万トンに増加することを計画 している。マプト・ターミナル港につい ては、現在の14百万トンから20百万ト ンに拡張することになる。

MPDC のコンセッション領域は、現在、 267.7 ha であり、そのうちマプト・ター ミナル港は 129.5ha である。しかしなが

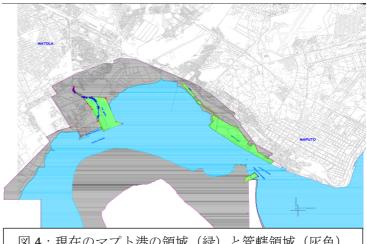


図4:現在のマプト港の領域(緑)と管轄領域(灰色)

ら、MPDC の管轄領域(Jurisdiction Area)は、5,594ha(図4の灰色部分)であり、更なる港湾拡 張の余地がある。

2015年の投資計画のうち、埠頭浚渫事業は完了しており、現在は、航路浚渫の入札が行われて おり、水深を現在の 11m から 14m に増加することが計画されている。MPDC は、新たに 2 台の走 行クレーンを調達した。今年8月には、走行クレーンがマプト港に到着し、訓練や初期テストを経 て、今年10月には操業開始を予定している。また、北側に港湾アクセス道路を建設しており、ト ラック輸送の効率化が期待されている。

2016年から2020年までの投資計画は、表1の通り計画されており、328百万ドルの投資を予定 している。埠頭リハビリ事業では、第6、7、8埠頭をリハビリして、14m水深の埠頭に改善する 計画である。2016年1月に埠頭リハビリ事業を開始し、2017年には水深14mの第6埠頭が操業 し、2018年には第7埠頭が操業される。埠頭リハビリの事業費は、102百万ドルを予定している。 コンテナターミナルは、現在の 15 万 TEU から 30 万 TEU に拡張される。

表1:マプト港の投資計画

XIII VARIA			
	投資事業		
2015 年の投資 計画	Dredging of berths (completed)		
	Channel dredging (pre-tender)		
	New Northern Boundary Road -Phase 1 (in progress)		
	New wind & dust barriers (in progress)		
	Container terminal expansion – new rail terminal (in		
	progress)		
	2 X Mobile Harbour Cranes (Oct. 2015)		
	2 X back-actors (completed)		
	2 X Excavators (completed)		
	2 X Forklift replacement (completed)		
2016- 2020 の 投資計画	Container terminal expansion – additional yard capacity		
	Definitive bulk terminal		
	Additional slab capacity (mineral products)		
	Rehabilitation of arrival/departure rail yard		
	Sugar terminal expansion		
	12 X tractor trailers		
	24 X ships		

出所: MPDC

2015年-2017年の港湾配置図は、図5の通りとなる。北側アクセス道路の建設が完了し、鉄道の 車両基地も港湾内に新設される。コンテナターミナル拡張事業が終了する 2018 年には、コンテナ ヤードが拡張され、クロム鉄鉱及び鉱物資源の置場が拡張される(図6)。

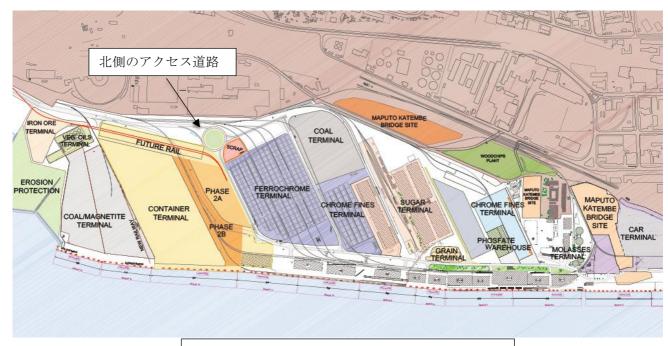


図5:港湾配置図(2015-2017年)

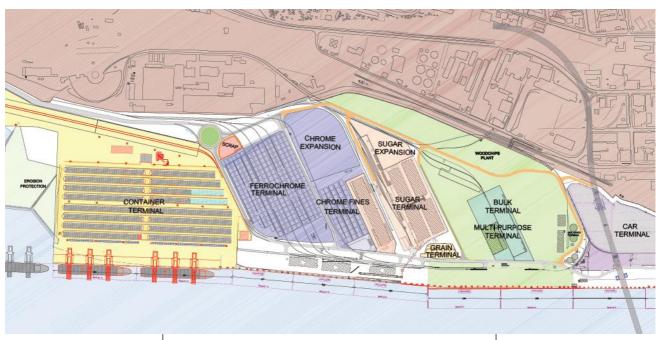


図 6:港湾配置図 (2018年)

4. 日本企業の参加機会

マプト港では、上記の通り、港湾リハビリ・拡張事業を計画しており、「Port Auhority」である MPDC の主導によって着々と実施されている。MPDC では、日本の港湾インフラ技術及び質の良い 設備に対する期待はあり、MPDC から、関心のある日本企業への港湾視察が示唆された。

今後、日本企業からなる港湾視察を通して、マプト港に関する情報を提供し、インフラ整備及び設備提供において、調達参加への機会を提供することが検討される。さらに、マプト港の拡張計画及び管轄領域の開発の可能性から、マプト港を利用する日本企業の機会があると考えられることから、MPDCの開発計画と歩調を合わせて、港湾利用を進めていくことが検討される。

3. 担当窓口

組織	担当者名	連絡先	備考
MPDC	Johann	+258 21 340500	Director Commercial 開発事業の担当局
	Botha	E-mail:	長
		Johann.botha@portmaputo.com	
	Soraia Abdula	+258- 21- 340500	Communication & Image Manager
		Email: soraia.abdula@portmaputo.com	MPDC へのアポ依頼の窓口。